

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	緑化推進事業			会計	款	項目	大	小
				01	08	04	08	02
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	みどりの課				
施策	1-1	生態系に配慮した公園・緑地・水辺等空間の整備・管理	主管課長	本田 英師				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	民有地空間・市民	意図	緑化を推進する。
事業内容	市民自らが緑を作り育てる意識を高めることで、緑の回復に努め緑豊かな流山の実現を図る。緑化講習会、ガーデニングコンテスト、地区花壇への花苗配布、門松カード配布、保存樹林・樹木指定、斜面樹林保全協定、生垣設置補助、みどりの募金など。			
事業開始から現在までの状況変化	TX沿線区画整理などでの樹林地帯の減少があった。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	生垣設置補助金確定件数	2	4	4	件		
②	市内の緑に満足している市民の割合	77.90	77.80	78.80	%		まちづくり達成度アンケートより	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 生垣補助の生垣の長さ:62.23m 生垣補助金総額:136,000円		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		11,223,133	10,891,015	9,467,917	市内の緑に満足している市民の割合はわずかに減少が進んでいるが、様々な緑化施策により、減少が最小限に留まっている。 実績が低迷している生垣補助金については、要綱の改正を行うとともに、ハウスメーカーなどへの説明により制度の周知を図った。			
事業費(b)(円)		2,985,133	2,836,615	2,881,517				
うち一般財源		2,985,133	2,836,615	2,881,517				
職員給与費(c)(円)		8,238,000	8,054,400	6,586,400				
人役・職員(人)		1.20	1.20	0.70				
人役・再任用(人)				0.50				
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	生垣補助金交付条件について引き続き検討することに加え、その他の施策についても、次期緑の基本計画を見据えて、総括や見直しを検討する。	③取組における課題(Check)	要綱改正や制度の周知から申請数の増加につながるまでにはタイムラグがあること、および、増加が予想される申請数に対応するための体制作りが課題。
②H30に実施した取組(Do)	実績が低迷している生垣補助金については、H30.10.1付けで要綱の改正を行うとともに、ハウスメーカーなどへの説明により制度の周知を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	生垣補助申請数の増加に対応するため、係員全員での対応ができるようにする。また、他の緑化施策については、次期緑の基本計画を見据えて、総括や見直しを引き続き検討する。